※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	時事社会	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	なし						
副教材等	フォーラム公共 2026（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「時事社会」は「社会的な見方・考え方」を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力を育成することを目指します。
授業は、講義を中心にアクティブラーニングを加味して進める予定です。講義の部分では、初めて聞くことに素直に感動してください。アクティブラーニングでは、しっかり自分の考えを持ち、それを発表やレポートなどの形で表現しましょう。

2　学習の到達目標

(1)考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解します。また、諸資料から、必要な情報を調べてまとめる技能を身に付けます。
(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養います。
(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	「公共の扉をひらくために」	「公共」の見取り図	a：選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論、重要な視点である、幸福・自由・正義・公正を把握している。 b：以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を積極的に活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」	幸福とは 自由とは 正義とは 公正とは	a：選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 b：　倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：他者と協働する倫理的主体として個人が判断するための手掛かりとなる考え方についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

		「国際」の見取り図	a:選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論、重要な視点である、国際化・グローバル化を把握している。 b:以後の学習において、国際化・グローバル化の視点を用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:以後の学習において、国際化・グローバル化の視点を積極的に活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
	「国際社会の現状と課題」	南北問題 新興市場国 地球規模の諸課題 地球環境問題 日本の役割	a:南北問題や新興市場国などの国家間格差などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 地球環境問題をはじめとする地球規模の諸課題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:国際社会に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 c:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察
2	「国際政治のしくみと動向」	国家主権と国際法 人権保障の広がり 国際連合の役割と課題 第二次世界大戦後の国際社会 冷戦終結後の国際社会 人種・民族・難民問題 核兵器の廃絶と国際平和 日本の安全保障の現状	a:国家主権、領土などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 人権保障が世界でどのように広がってきたのか理解している。国際連合の役割と課題について理解している。第二次世界大戦後の国際社会の動向、冷戦終結後の国際社会の変容について理解している。人種・民族・難民問題などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。核兵器の廃絶などの軍縮、国際平和に向けた世界の取り組みについて理解している。我が国の安全	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

			保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 b:国際政治に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 c:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めている。			
	「国際経済のしくみと動向」	貿易と国際分業 外国為替のしくみと国際収支 戦後国際経済の枠組みと変化 グローバル化する経済	a:貿易と国際分業、外国為替のしくみと国際収支について理解している。 戦後国際経済の枠組みとその変化について理解している。 経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 b:国際経済に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 c:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ﾉｰﾄ	授業ﾉｰﾄ レポート 課題 授業観察

※令和４年度以降入学生用

3	「持続可能な社会をつくるために」	民主主義を考えよう 日本の格差問題 科学技術の発展 外国人との共生	a:民主主義、日本の格差問題、科学技術の発展、外国人との共生などの現実社会の諸課題について、課題解決に向けた必要な知識を理解している。 b:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 レポート 課題	発問評価 授業ﾉｰﾄ 発表	 授業ﾉｰﾄ 発表 レポート 課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度